



上州武尊山山行報告

【山行日】2018年 7月 1(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所 P AM 4:00

【費 用】マイカー2台 : 2,900円

【メンバー】CL:鈴木、石川、岩淵、大西、岡、島田、関、津佐、鶴見、藤原、松舘

【コースタイム】岩舟支所 P4:00＝武尊神社

P6:00/6:20～下降合流点 7:10～手小屋沢避難

小屋 8:15～鎖場 9:40～武尊山 10:20/10:40～

鞍部 11:20/11:50～剣ヶ峰 12:50～下降合流点

15:45～武尊神社 P16:15/16:35＝岩舟支所 P18:35

去年、上州武尊山を計画したが、雨天の為中止になり今年はりベンジ山行で計画した。今年は晴天に恵まれルンルン気分で関越道を走り、水上 IC で降りて武尊神社駐車場へ向かった。駐車場に車を2台置けるか心配したが、半分以上空いており楽に止めることが出来た。駐車場は舗装されて水洗トイレが設置され、無料で止められるのは登山者にとってはとてもありがたい。

準備を整えトイレを済ませ、ストレッチを行ってから出発する。舗装道を左に進み30分くらい歩くと駐車スペースがあり、数台止まっていたがまだ空きスペースがあった。ここからは荒れた林道を歩くようになり、20分程歩くと下降合流点の分岐に着く。道標に従って左折し、ここからは本格的な登山道を歩くようになる。明るいブナ林の中を登るが、徐々に傾斜がきつくなり道も荒れてくる。火山礫の岩場を越え、木の根が張りだした急斜面を登って行くと手小屋沢避難小屋分岐に着く。小休止しグレープフルーツや菓子を食べエネルギーを補給する。ここからは須原尾根を登るようになり、コメツガの原生



林の中を登り高度を上げて行く。傾斜が次第にきつくなり、ひたすら上り詰めると岩溝状の岩場が



現れる。固定されたロープを頼りに登ると、武尊山の岩峰群が見え隠れする。さらに進むと岩場が2箇所あり、ロープやクサリを頼りに慎重に越えて行く。なおも尾根を登るとシャクナゲが目立つようになり、ハイマツ帯に出ると沖武尊の頂上が近くなる。尾根道が細く平坦になって、背丈を越すハイマツの茂る最後の急坂を一気に登ると武尊山山頂に飛び出る。一等三角点が置かれた頂上には御嶽山大神の祠や山頂標識が立ち、さえぎるものが無い

360度の大パノラマが得られる。尾瀬や日光白根山、皇海山、さらに谷川岳や草津白根山など上州の山々の大展望が開けている。山頂で大展望を楽しみながら果物や菓子を食べ、記念写真を撮



ったら剣ヶ峰へ向かう。

山頂から前武尊方面へわずかに下り、右折して火山礫の急坂を下って行く。展望の良い尾根道を、小さなアップダウンを繰り返し下り、風通しが良い日陰の鞍部でランチタイムとする。温かいキノコ汁に素麺を入れおにぎりと一緒にいただくが、登山道なので登山者が通るたびに「おじゃましています」と謝った。そこからもアップダウンを繰り返し剣ヶ峰山への分岐着く。ここにザックをデポし、水とおやつを持って剣ヶ峰山頂を目指す。7分で山頂に着き、狭い山

頂で展望を楽しみながらトマトとはちみつレモンを美味しくいただいた。記念写真を撮ったら分岐まで戻り、武尊神社に向かって下山する。ところがここからの下りが難所で、本日のコースで一番苦労した。滑りやすい急峻な坂道を、木の根や岩に掴まりながら慎重に下るので時間がかかってしまう。山人クラブのパーティーが一番苦手な下りで、コースタイムを大幅に超えてしまった。ひたすら高度を下げて行き、いくつもの沢を越えて行くと下降合流点にたどり着いた。ここからは健脚組は先行し、武尊神社駐車場を分かれて目指した。



駐車場に戻り、車を日陰に移動し冷房をマックスまで効かせる。靴を履き替えてトイレを済ませ、ザックを車に積んだら帰路につく。途中、セブンイレブンに寄り、それぞれご褒美のコーラやアイス、コーヒ等を買って喉を潤した。上州武尊山は登りも下りも大変な山だったが、山頂からの展望や剣ヶ峰への稜線歩きは素晴らしく、皆さん大満足の様子だった。

